

COMMIT

Together Now!

Vol.73

2021 Winter

コロナ禍における外大キャンパス

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス。

京都外大では、感染予防策を徹底したうえで、構内への入構制限や授業のオンライン化などあらゆる取り組みを進めてきました。

今号では、学生、教員、キャリアセンター長のインタビューを通じコロナ禍における外大の“今”をお伝えします。



構内入口付近で
検温チェックを
受ける学生たち



学生の声

外国語学部英米語学科 3年次
藤倉陸さん

オンライン環境のメリットを活かし、有意義な時間を過ごす

オンライン授業は、平常時の授業と比べて課題が多かったのですが、授業以外のところで学習する習慣など、社会人になる上で、必要な能力が身に付いているという実感がありました。また、クラブ活動も春学期中は集合することができず、オンラインでの活動になりました。対面ではない期間中は、モチベーションを維持するのが大変でしたが、なぜ大学で勉強しているのか、クラブ活動をするのか、その意味を再確認することができ、いずれもより一層集中して取り組むことができたと思います。ピンチをチャンスに変えるという意識を持つことで、オンラインという環境の中であっても、有意義な時間を過ごすことができました。



教員の声

外国語学部スペイン語学科
立岩礼子教授

留学に代わる実践を通して、学ぶ姿勢を引き出す

スペイン語学科2年次生の74名が、協定校の学生とスペイン語で継続的なメール交換を行いました。コロナ禍でスペインへ行く機会が遠のいたピンチをチャンスに変える試みでした。卒業生たちが日本語講師として勤務している協定校にお願いして先方でも74名がスタンバイ。本学の学生たちは、スペイン人学生をクライアントに見立て、日本に1週間招くというプランを立てメールで添付。ホテルは旅館にしてほしい、富士山に登りたい、カラオケに行きたい、紅葉が見たいなど、クライアントからの様々なリクエストに対応。コロナ禍を逆にとり、留学に代わる実践を通して、学生から積極的に学ぶ姿勢を引き出せたように思います。



キャリア
センター長
の声

キャリアセンター
日野直樹センター長

コロナ禍でも変わらぬ支援を

キャリア
サポート

コロナ禍年度におけるキャリアセンターの学生支援について

就職活動が本格化する4月に、緊急事態宣言が発令され、実質就職活動もストップしました。一方で大手企業などは面接を素早くオンラインに切り替えて継続するケースも見られ、キャリアセンターでもそういった動きに対応した学生支援を展開するために、オンライン授業に先立ってオンライン面談を始めました。そのほか、就活に悩む学生をオンライン上でキャリアセンターの職員と結ぶ「しゃべくりキャリアセン」や、本来対面で行っている就職ガイダンスや各種講座もオンラインで開催しました。

ONLINE



これからの就活事情について

長引くコロナ感染症の影響により、学生にとって今後の就職戦線はますます厳しくなると予想されます。今年度の内定率は現状では昨年を10%程度下回って推移しており、ここ数年続いた売り手市場から一気に買い手市場に移行したといえます。大手企業はDX(デジタル・トランスフォーメーション)や働き方改革への対応を早めており、それに適応した人材の絞り込みが進んでいます。また、来年度(22年卒)は航空会社関係・旅行業界でほぼ全ての企業が採用の中止を発表しており、厳しさは増すばかりです。

しかしながら、コロナ禍の影響を受けていない業界や、逆に収益を伸ばしている企業、恒常的に人材不足に悩む中堅サイズの優良企業は積極的な採用活動を行っています。学生の皆さんには就活を優位に進めるために、そういった企業の情報をできるだけ多く入手し、少しでも早く就活に取り組んでもらいたいと思います。

News

学校法人京都外国語大学への 寄付について

「修学支援奨学金(在学生1人あたり一律2万円)」として、後援会から学校法人京都外国語大学へ1億円を寄付しましたので、お知らせいたします。
大学および短期大学からの「遠隔授業受講に伴う通信費用の助成」とあわせて「普通為替証書」にて送付しております。

WEB教育懇談会 を開催

2020年10月に特設ウェブページ上にて開催されました。

初めての「WEB懇談会」ということで私も含め、戸惑われた方も多かったと思います。今回、私はWEB個別相談の予約を入れて参加させてもらいました。子ども達はキャンパスへ行くこともできず、WEBでの授業がどういうものであるのか、大学生活がどのようになっているのか心配でしたが、実際にWEBで参加してみると非常に簡単に移動する手間もありません。大学側も初めての試みで準備も大変だったと聞いていますが、今後はコロナに関係なくこのようなWEB形式のものが増えていくのかなと感じました。

皆さんも時間的に大学まで行けなくてもWEBなら大丈夫ですので、次回是非参加してみてください。(広報部会 鈴木)



WEBだと
参加しやすいのが
メリットですね

WEB教育懇談会の様子(イメージ)

WEB委員交流会 を開催

2020年12月5日(土)にZOOMを使って開催されました。

日頃子ども達がオンライン授業を受けていますが、私達もスペイン語学科立岩教授の授業を体験させていただきました。ZOOM初心者の方はドキドキしながら授業を受け、教授の声だけでなく、委員の皆さんの声も聞こえて何だか不思議な感じを受けました。各々授業を受けている場所は違いますが、複数の相手の声が同時に聞こえてきた時は、教室にいる気分でした。次に留学、フリートーク、就職の3グループに分かれて交流会を行いました。私はフリートークに参加し、福井、奈良、京都、滋賀をつないで、ZOOMでお話していると以前から交流していたかのようにトークが進みました。その後ビンゴゲーム、休憩を挟んで部会別に分かれてのトークと充実した交流会でした。

コロナ禍で学校行事が中止となり、委員同士の交流の場がありませんでしたが、通信機器を使ってお互い遠くにいても海外にいても複数の相手の顔を同時に見ながら交流ができるのだと感動しました。(広報部会 篠原)



遠方の方とも
交流できて身近に
感じられました

WEB委員交流会の様子(イメージ)

編集後記

今回のCOMMITはコロナ禍に伴う活動自粛により、通常とは異なるA4サイズでのお届けとなります。保証人(保護者)の皆さまが普段目にする事のない新型コロナウイルス感染対策を取り入れた学生生活、例年とは異なる教育懇談会、後援会の委員交流会などをまとめさせていただきました。

12月5日に行われた委員交流会ではZOOMで行うなど新しいスタイルを用いて後援会の委員の皆さまとの交流を楽しみました。これからもCOMMITを通じ保証人(保護者)の皆さまのお役に立てる情報を発信し、後援会活動を身近に感じていただけるよう広報部会一同頑張っていきますのでご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。
(広報部会 三井)

